

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

|      |                                    |     |        |                   |   |
|------|------------------------------------|-----|--------|-------------------|---|
| 法人名  | 社会福祉法人<br>松濤会                      | 代表者 | 松本 定信  | 法人・<br>事業所<br>の特徴 | 海と山が見える立地にあり、登録は29名、通い18名、宿泊9名の施設です。通いサービスを中心に宿泊・訪問サービスを柔軟に組み合わせ、家庭的な雰囲気の中、顔なじみの職員が対応することで、住み慣れた自宅での生活を支援しています。座位浴とチェアーインバスがあり、利用者様の状態・希望に合わせてご利用できます。またカラオケや車いすダンスなどの余暇活動も充実しています。 |
| 事業所名 | 小規模多機能型居宅<br>介護事業所 銀砂台<br>「本宮町クラブ」 | 管理者 | 石川 美也子 |                   |   |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計  |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
|     | 1人    | 1人       | 2人        | 1人  | 人     | 人          | 人     | 5人    | 人   | 10人 |

| 項目                      | 前回の改善計画                                     | 前回の改善計画に対する取組み・結果   | 意見  | 今回の改善計画  |
|-------------------------|---|---|---|--|
| A. 事業所自己評価の確認           | 改善計画を毎月確認することで、各利用者への支援内容の確認と意見交換ができるよう努める。 | 改善計画を毎月確認することはできなかったが、利用者への支援内容については、毎朝意見交換ができるようになった。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>虐待についての講演（専門家）を実施したか？</li> <li>計画内容について具体策はどうか？</li> </ul> | 高齢者権利擁護について勉強会を開催し全職員が理解できるよう努める。                  |
| B. 事業所のしつらえ・環境          | 地域の方が参加できる行事（納涼会）に昨年より多くの方が参加できるよう企画する。     | 昨年は猛暑だったため、今年度は10月に秋祭りとして開催した。天気が悪く室内での開催になったが、近所の方も来ていただくことができた。 | 昨年は暑かったため、今年度は10月に行くことはよかったです。利用者・家族・職員ともに体への負担が少なくなるように思います。                                     | 来年度のお祭りは、地域の方も参加できるように企画を考えより多くの方が楽しんでいただけるよう努力する。 |
| C. 事業所と地域のかかわり          | 地域イベントに参加するよう努力し、地域に知られる施設になるよう努力する。        | 神峰神社大祭礼などに参加したが、まだ地域に知られる施設にはなっていない。                              | 当施設は大通りに面していないため、地域の方の認知が少ない。広告の必要がある。チラシや秋祭りの案内などはもっと広範囲にまいてはどうか。                                | 現在開催されている行事などに地域の方が気軽に参加できるように努力する。                |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 地域のイベントに利用者と一緒に参加し、外出の機会を多くすることで地域との        | 神峰神社大祭礼や食事外出することができた。   | 地域を交えた会議にケアマネだけではなく、その他の職員が出席し本人を理解する要因とすることが必要   | 地域ケア会議に一般職員も参加し、地域での課題や高齢者の課題を理解し住み慣れた自宅での生活ができる   |

|                    |   |   |   |   |
|--------------------|---|---|---|---|
|                    | 交流を図ることができるよう努力する。                      |   |   | 支援につなげることができるよう努力する。  |
| E. 運営推進会議を活かした取り組み | 困難事例の際には、地域包括支援センターに相談し連携して対応ができるよう努める。 | 地域包括支援センターからの相談を受け付けた。また、対応に難しい方への対応について相談した。                     | 取り組みについてはよい。利用者の状況についての具体的な計画を立てる必要がある。<br>成年後見員制度については、家族から問い合わせがあった際に説明ができるようにした方がよい  | 成年後見人制度について勉強会を開催し、家族からの問い合わせの際に答えられるように努力する。   |
| F. 事業所の<br>防災・災害対策 | 災害時に必要な物品をリスト化し備蓄体制を整える。                | 備蓄品を準備できたが、まだ足りないものもあると思われる。今後も少しずつ準備し近所の方が災害にあっても対応できるようにしていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の防災訓練・利用者も参加にむけた計画について具体的に知りたい。</li> <li>・防災訓練の際にでた課題が知りたい。</li> <li>・宮田交流センターには防災士の資格を有するものがあるため、訓練の際には協力します。</li> </ul> | <p>年度初めに年間の防災訓練予定表を作成しホームページに掲載する。</p> <p>防災訓練を行った際に出た課題を整理し次回の防災訓練の際に役立てることができるよう努力する。</p> |